

「デジタル・アーカイブ速報」No.34

岐阜女子大学 文化創造学部
〒501-2592 岐阜市太郎丸 80
フリーダイヤル 0120-661184
URL <http://www.gijodai.ac.jp/>

岐阜女子大学大学院 文化創造学研究所(事務局)
〒500-8813 岐阜市明德町 10 番地 杉山ビル 4F
TEL 058-212-3257 FAX 058-212-3258
URL <http://www.gijodai.jp/graduate/>

教育レベルの保証と個の特性を活かす、 「わかる、たのしい」電子教科書へ

電子教科書では、

“将来のある子どもたちに教育の質的レベルの保証と

個の特性を活かす教科書”

をいかに構成するかが大きな課題です。また、これを可能にするのが、電子教科書であると考えます。

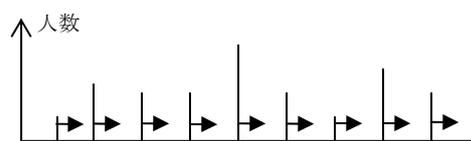
電子教科書の新しい機能

現在の教科書や教師のクラス学習指導は主として、平均を中心にした学力の者を対象にした指導（A）をしているため一人ひとりを対象にした指導（B）の両特色を持つ構成・提供ができないか検討が必要です。

（木田先生がかつて教師・教科書は、平均近くの子供を中心に指導しており、集団と個の関係を考えた学習指導ができる教材を提供・指導がどのようにすればできるか考えるべきだと言われていました。）

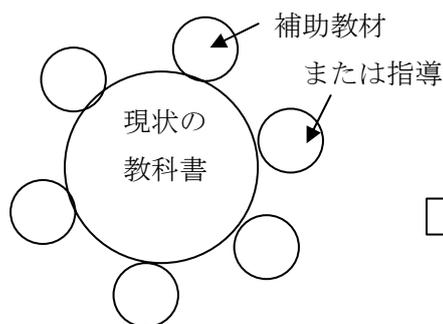


(A)平均を中心に学力の分布を考えた教科書？

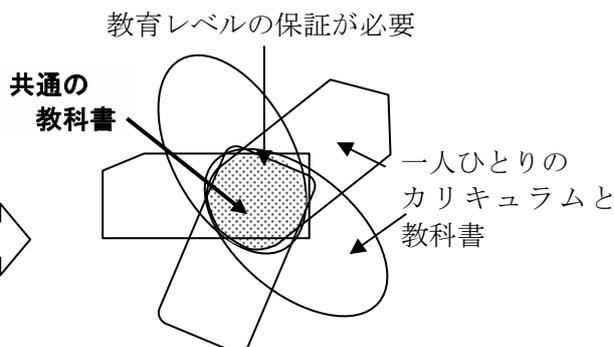


(B)一人ひとりの学力を考えた教科書にするには？

電子教科書の構成は、各個のカリキュラムの共通の教科書を作成するため、学習者一人ひとりのカリキュラムに適した教育資料を考え、これに基づいて個から共通の教科書を創る観点を持つべきです。



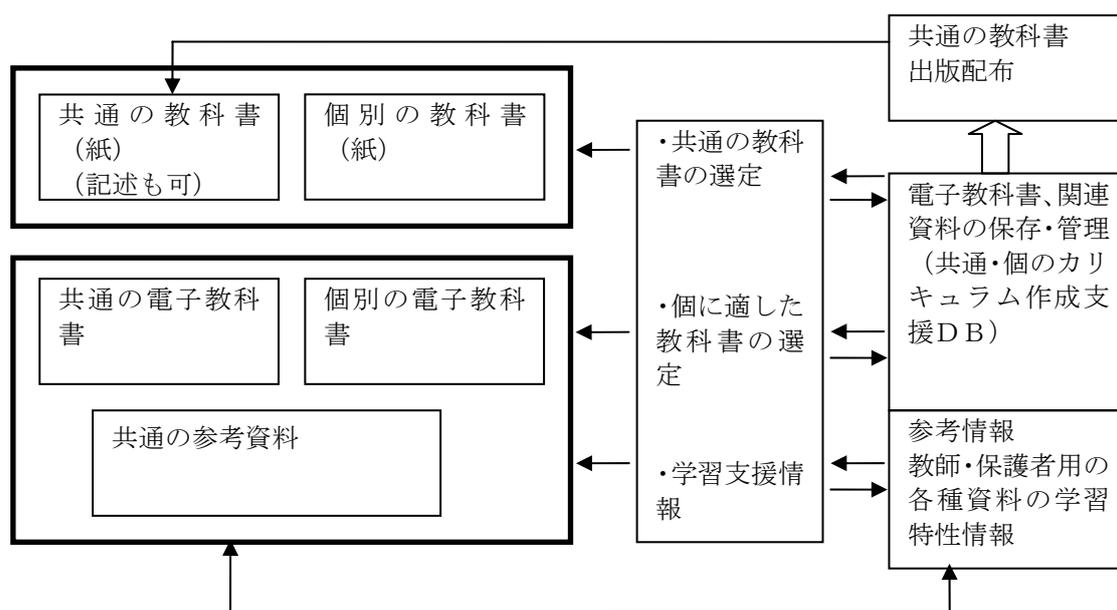
共通の教科書から個の指導



個のカリキュラムから共通の教科書を創造

教育のレベルの保証と個の教育は、教師は、毎日の教師の教育実践の中で苦勞している事項であり、決して、新しい事柄ではありません。しかし、教育環境が整備されていなく個と全体の学習指導にかかる教師の苦勞を少しでも補助するのが、電子教科書であるとも考えられます。

すなわち、一人ひとりの教科書ができ、その共通化から教育レベルを保証した教科書が構成できる電子教科書と個の教科書をいかに提供できるか、知恵を出すのが、新しい電子教科書製作会社です。

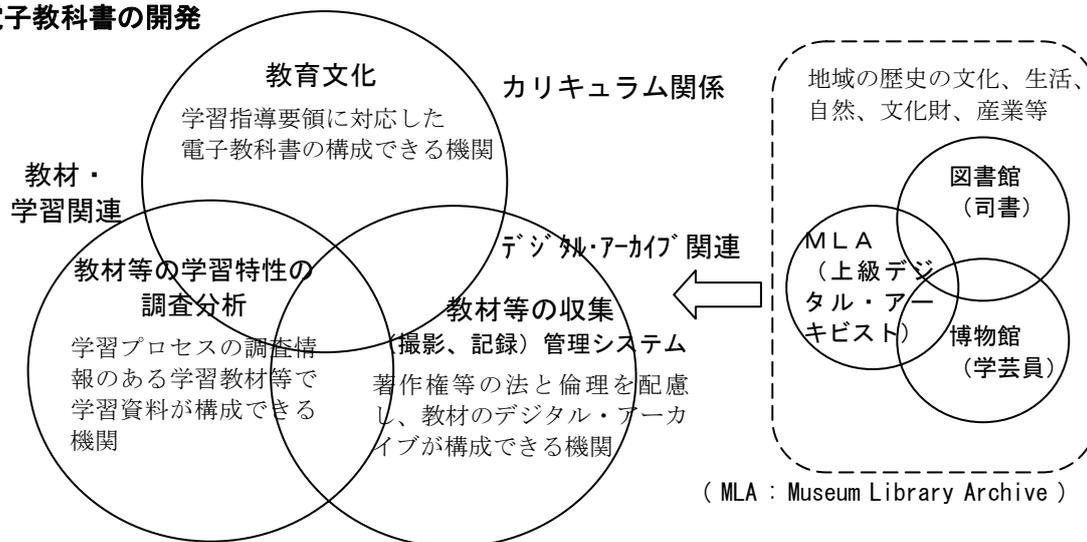


紙の教科書と電子教科書の制作による共通と個別の教科書の構成

電子教科書製作機関（企業）

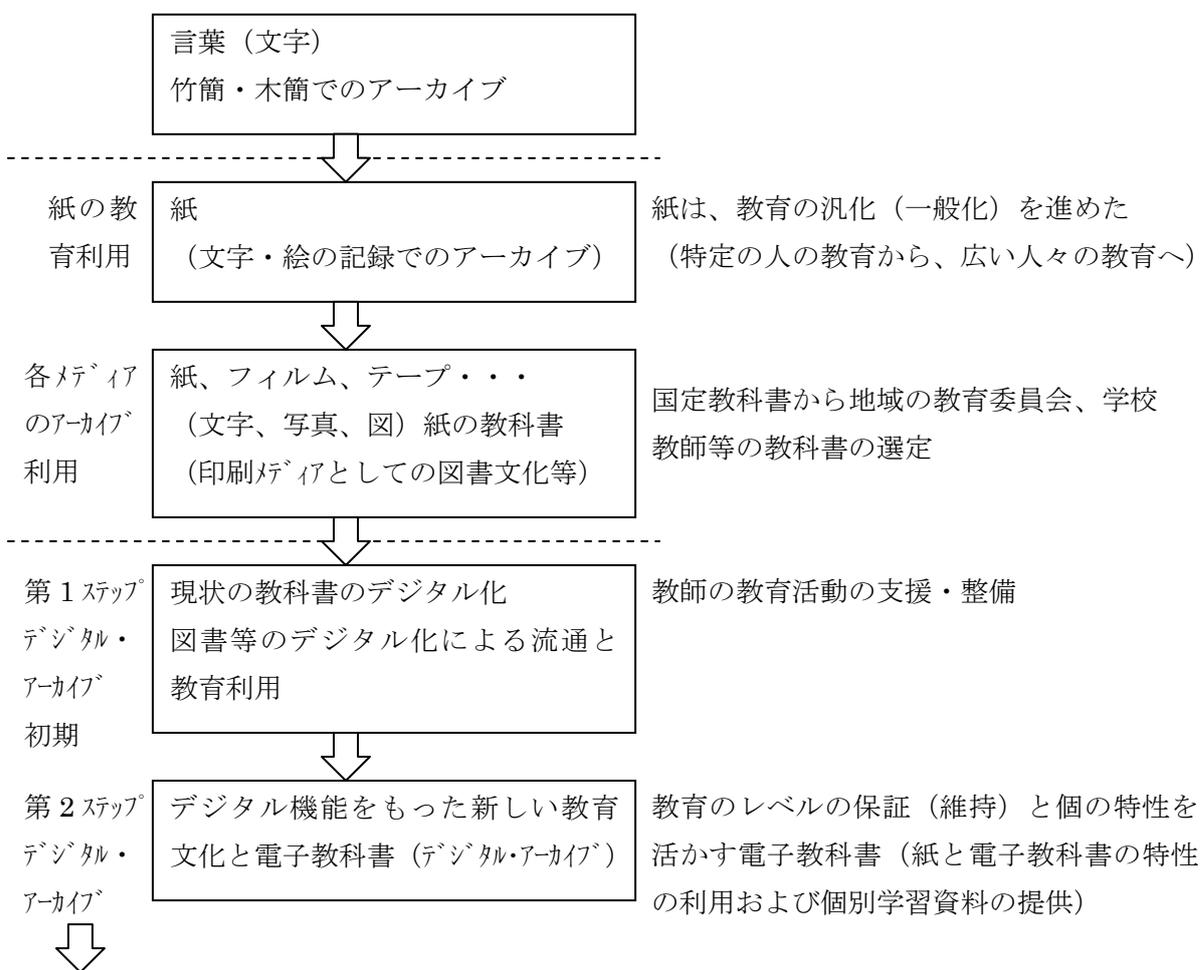
電子教科書の製作会社等の機能としては、次のような構成が必要であると考えられます。

電子教科書の開発



教材の学習特性を多くもつ教材会社・教科書会社とデジタル・アーカイブ開発機能をもつ機関が、新しい電子教科書会社としての活躍が望まれます。

文化の継承(教育)としてのアーカイブを考える



大学院の電子教科書関連の教育カリキュラム

岐阜女子大学の電子教科書関連の大学院教育として関連のある科目は、大きく分けて、デジタル・アーカイブ関連と教育方法関連で構成しています。この他に、博物館・図書館などの文化情報管理関係の科目もあります。

今後、各科目の内容を整理し、電子教科書製作(会社)、教育研究・実践(教員等)の持つべき能力とその人材育成についての方向性を再検討すべき時期だと考えます。電子教科書は、紙の教科書のデジタル化と教材のデジタル化が進みだしました。しかし、本格的には、教育のどのような基本課題が、これにより変わるか、教科書制度から新しい教育として現状を見直す時期だと思えます。

実践力のある上級(教育)デジタル・アーキビストの育成カリキュラム

岐阜女子大学 大学院 文化創造学研究所

～電子教科書関係カリキュラム～

